

2019年7月31日

## 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館 累計入館者数600万人達成

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館は1976年7月の開館から今年で43年目を迎えました。本日7月31日(水)、開催中の「みんなのレオ・レオーニ展」(9月29日まで)において、累計入館者数が600万人に達しました。

600万人目の入館者となった岸夕子(きしゆうこ)様(神奈川県在住)には館長の中島隆太より、記念品としてゴッホ《ひまわり》の七宝焼き複製画と、レオ・レオーニの絵本『フレデリック』のぬいぐるみを贈呈いたしました。夏休み中のお嬢様とお二人で「教科書で習った『スイミー』や、ゴッホの《ひまわり》を楽しみにして初めて来館、幸運にも600万人目の入館者となった。」と笑顔でお話いただきました。



当館は、1987年のゴッホ《ひまわり》公開以降、《ひまわり》に出会えるアジアで唯一の美術館として、また、近年は年5回の企画展の開催等により、毎年17万人前後の方々が国内外から訪れます。

現在、損保ジャパン日本興亜本社ビルの42階にある美術館は、2020年3月15日をもちまして閉館し、2020年5月28日より同社敷地内に建築中の美術館棟へ移転、「SOMPO美術館」として新たに開館する予定です。移転開館後も新宿から世界へ芸術・文化を発信し、更なる地域の発展に貢献してまいります。